

第 268 回月例情報市場

2026. 5. 20 ふれあい福祉センター4 階会議室

活動紹介

- 天空の里いもい農場

地域への認知度向上のため回覧板で「活動通信」を定期発行しており、今回代表が浦中綾子さんから山崎政子さんに第 4 代として世代交代したことを報告しました。新体制での活動として、更科農業高校との連携による取り組みを開始することになりました。

神代桜に関する重要な保護活動についても言及されました。芋井地区にある樹齢数百年の江戸彼岸桜である神代桜が勢いを失い枯死の危険があるため、更科農業高校の生徒たちが後継樹の育成に取り組んでいます。この桜は国の天然記念物であり、枝一本折るにも文化庁の許可が必要ですが、国や市からの資金援助はなく、管理は地域に委ねられています。高校生たちは神代桜の遺伝子を残すため新しい苗木を育てており、将来的には善光寺街道の起点である善光寺にも植樹する目標を持っています。

高校生約 20 人が芋井農場で草刈り作業を実施し、環境美化活動を通じて地域との交流を深めました。13 年目を迎える活動において、同じことの繰り返しによる衰退を避けるため、青空カフェや広瀬神社の御神木の見学など新しい取り組みを継続的に実施していく方針を示しました。

芋井地区住民自治協議会が発行している地域の民話の本について関心を示し、入手方法について質問しました。おそらく語り部がいると思うので、子どもたちに向けて語り部の活用を提案しました。お泊り会などでできるか検討したい。

- 学生服のリユース セカンドボタン

制服リユース事業の現況報告がありました。今年は夏物の問い合わせが増加し、来年度新入生の制服需要も高まっています。買い取り希望者も多く、対面での取引を重視しており、クリーニングのクボタさんとの連携をしています。夏服や来年度の新入生の制服が欲しいという問い合わせや買取希望が増えています。

- 精神福祉ボランティア ホワイトナッツ

企画運営の継続性について言及し、年間行事は決まっているものの演出を変えることで新鮮さを保つ工夫をしていることを報告しました。6月2日のらくらく亭でのあじさい寄席への参加について、常連客との関係維持の重要性を強調し、継続することの価値を実感していると述べました。特に、引きこもり状態だった50代の参加者が一人で落語を聞きに行けるようになったことを成果として挙げました。

- ダウン症ひまわりの会主催、にこにこフェスタについて

理事高沢さんは、3月29日ダウン症ひまわりの会のにこにこフェスタについて報告しました。理事でシューマートの霜田さん、込山さんのソニー生命からの資金援助、山楽会の参加など多くの協力を得て成功しました。手をつなぐ育成会との連携も進んでおり、精神障害者支援活動への参加拡大や柵池散策、大岡村でのキャンプファイヤーなどの活動を予定しています。

会長込山さんはソニー生命のMDRTからの20万円の助成金獲得について報告し、ニコニコフェスタの資金として活用されたことを説明しました。本社からの取材もあり、社会貢献委員会の理事に就任することになりました。

- 事務局より

ささえあい応援基金の申請状況について報告し、6月20日公開審再開は誰でも参加できることをお知らせしました。

- 物品提供情報

長野県のこどもカフェプラットフォーム様よりダイニングテーブル(椅子なし、傷あり)
5/24 までに取りにいける方限定

理事木賣さんの西敬寺より、お米30キロ→こどもカフェプラットフォーム様へマッチング済み

次回 6月17日(水)16時～17時 ふれあい福祉センター4階和室